

子どもたちの成長とこぼれ

「岡本団地ふれあい・いきいきサロン」

「岡本団地ふれあい・いきいきサロン」は毎年6月と11月に開催されている。サロンが始まる前は、盆踊りや夏祭りなどを団地で独自に行っていた。しかし、近年参加者が減ってしまったため、サロンを行うに当たり現在の日程になったという。サロンでは、主にグラウンドゴルフ大会を行っており、秋に開催するときには、グラウンドゴルフのほかには芋煮会、芸能発表会、カラオケ、日本舞踊など多種多様なイベントが同時開催されている。その会場は、団地内にある「さくら広場」で行われる。

「岡本団地ふれあい・いきいきサロン」の特徴のひとつは子ども会育成会と一緒にやって行事を行っているところにある。サロン自体は、区の実行委員によって計画されるが、その際には、必ず子ども会との話し合いを欠かさない。「昨年、子どもたちと一緒に芽吹いたどんぐりを植えたんですよ」と嬉しそうに区長は話してくれた。やがて成長し、かぶと虫の集まるクヌギ林へとなっていくことが楽しみだと区長は語る。まるでクヌギの成長を子どもたちの成長になぞらえているようだ。「子どもは未来の宝です。団地内の子どもは、団地に住む皆の子どもだと考え、接するようにしているんです」と区長は話す。



グラウンドゴルフの様子

団地内には、高齢者から子どもたちまでさまざまな年代の人が暮らしている。高齢者のためであるとか、子どもたちのためといった枠を取り払い、そこに住む住人全員でイベントを行い、全員で楽しむといった姿勢が「岡本団地ふれあい・いきいきサロン」から感じられた。

葛貫の獅子舞

文化財シリーズ219

新規指定文化財の紹介④

葛貫の獅子舞

毎年10月第2日曜日、葛貫の住吉四所神社で獅子舞が行われています。葛貫の獅子舞は町内の他の3つの獅子舞（大類、川角、滝ノ入）、2つのお囃子とともに、平成23年3月22日、毛呂山町指定文化財となりました。

葛貫の獅子舞は、3匹（頭）一組で、その内の1匹は「女獅子」、他の2匹の獅子をそれぞれ「男獅子」「中獅子」と呼んでいます。

葛貫の獅子舞は、昭和38年に諸事情によりやむなく休止しましたが、平成元年に葛貫獅子舞保存会を発足させ、復活しました。

葛貫の獅子舞は、獅子のほか町内で唯一、「謡い」が行われています。「謡い」とは獅子舞の伴奏となるササラ（竹を摺り合わせて音を出す楽器）と笛、自らが叩く太鼓以外に歌を歌うことです。町内の他の獅子舞でもかつては「謡い」が行われていましたが、現在では葛貫の獅子舞だけ

けとなってしまいました。

「謡い」には、何かを褒め讃える内容の「〇〇褒め」や、獅子が戻るように呼びかける「お暇」「七つ子」で始まる歌などがあり、埼玉県内全域で見られます。葛貫の獅子舞の歌詞を見ると、宿を褒める内容の「宿褒め」、神社を褒める「宮褒め」で始まり、最後は「いざ帰りよな」で終わる「お暇」と思われる歌が歌われています。「七つ子」で始まる歌詞はありませんが、年齢を想起させるような数が歌詞に入っており、やはり埼玉県内各地で歌われている「謡い」に共通する点が見られるようです。

「謡い」が歌われながら舞う獅子舞はまた違った味があり、観客を魅了するものがあります。ぜひとも後世に残していきたい葛貫地区の貴重な伝統行事です。



子どもたちが舞う葛貫の獅子舞。左手には謡いの人たちも見えます。住吉四所神社にて